

「硫黄島遺骨帰還作業」要員の応募について

厚生労働省が実施の「平成23年度硫黄島遺骨帰還作業」を民間団体の事業主体の一つに選定されている「大東亜戦争全戦没者慰霊団体協議会」から作業要員の参加希望登録の要請がありました。

硫黄島での遺骨収集は、前管総理が徹底を指示し、政府は昨年特命チームを設置。本年4月から厚生省の職員数人常駐させ、派遣隊と合わせて年間600人規模で継続的に活動する計画だったが、震災対応や水不足の深刻化で職員の常駐も出来ていない。昨年度までの収集は9500柱のみである。

隊友会以外の協力依頼団体は、僧行会・水行会・つばさ会及び郷友連盟。（首都圏の各会に）
時 期 年間約5回 各回50名程度（遺族が主体に含まれるので5名程） 約一週間～10日間。
（本年第1回は、8月30日からでしたが降水に頼る硫黄島の貯水料が少なく中止となる）

取扱い 厚生労働省の事業であり、公務員に準じて国が補助。（健康診断書費用は個人負担）
旅費・宿泊費・旅行障害保険料はお国持ち。交通手段は自衛隊の定期便のみ。

行動予定 指定前日に空自入間基地に集合・結団式（注意事項等遵守の誓約書提出をお願いします）
翌日、入間基地から特別便で硫黄島へ
自衛隊施設に宿泊しながら、遺骨収集 帰着前日現地送別式等実施
特別便にて入間基地に帰着、入間解散

事前確認事項

- ① 派遣先は、熱帯地域であり気候風土が異なること。（年間平均気温22度）

※ 平成8年3月現地慰霊で参加した時の感想では、自衛隊施設以外には米軍と建設工事関係者施設しか無く、飛行場と海岸線地帯以外はジャングル、特に旧島民が居住していた低地は樹木が覆い茂り立ち入り出来ない状態に見えた。勿論、蠍（さそり）も居るそうですよ。

- ② 派遣中は、自衛隊施設で生活するため、行動が制限される場合があること。

- ③ 離島であり、医療施設が整っていないため、健康上の問題がないこと。

添付書類等

- ① 医師の診断書（一般的な書式で結構・費用は6,000～1万円個人負担で願います）
② 公的な顔写真入り身分証明書

登録申込 同協議会は、第一次の締切りは9月10日としていますが、その後も随時に追加ご通知ければ幸甚としていますし、厚生労働省も未だハッキリした計画も示してないようであり、自衛隊の宿泊施設の利用に關係しており確定が？。故に支部は10月20日（木）までに分会長を通過して事務局長に通報下さい。（取りあえず氏名のみで結構です）

健康診断書などは調整後、事前取得を連絡致します。

千葉護国神社秋季例大祭の奉仕者募集

例大祭が次により執り行われますので、奉仕希望者は9月28日（水）事務局長に申込み願う。

10月10日（祝）千葉護国神社（千葉市中央区弁天3～16）JR千葉駅北口から徒歩10分

奉仕内容 清掃 10月9日（金）0900～1200

交通整理 10月10日（祝）0800～1130

奏 与 秋の例祭は実施されません。平成21年の大祭から、新田神社・新田神社・新田神社。

※ 当日は式典後、直会（ちくゑ）で御神酒が贈られますので、車での参加はご遠慮下さい。